



学校向け新聞活用プログラム「+日報」試してみませんか？

学校向け新聞活用プログラム「+(プラス) 日報～確かな情報スクエア」は10月、トライアルをスタートしました。

主な対象は、県内全ての小学校5、6年生と中学校全学年の児童生徒です。高校からの参加も受け付けています。

内容は▽本紙の紙面データをアーカイブしたDB検索機能を提供▽パソコンやタブレット端末を使って、本紙紙面と同じ体裁の紙面を読めるデジタル版を提供▽トライアルに参加する全学級に毎日(長期休暇と休日を除く)、本紙1部を配送—の3点です。

- ① 記事検索できる
⇒紙面データをアーカイブしたDB検索機能を提供します
- ② デジタル版が読める
⇒パソコンやタブレット端末を使って、紙面を読めます
- ③ 教室に朝刊1部
⇒毎日、教室に新聞1部が届きます



記事検索機能 調べる を使うと…



2004年以降の記事を収録

岩手日報に掲載された豊富な地域ニュースから政治・経済・文化・スポーツまで、幅広いテーマの記事を検索できます。2004年4月1日以降の記事を収録しています。キーワードを入力することで、これらの記事の中から調べたい事柄が簡単に検索できます。

授業に活用、教材作りが容易に

記事検索機能を使うと、さまざまな教科で、身近な視点を取り入れた教材づくりが可能になります。教材開発の幅を広げるとともに、業務負担を軽減します。児童生徒の調べ学習にも活用できます。

朝の活動で使えます

盛岡・下橋中の「NIE週間」



盛岡市の下橋中（泉澤毅校長、生徒225人）は毎月1回、「NIE週間」をつくり、朝学習の時間に新聞をスクラップしたシートを作成し、交流しています。同校の新聞スクラップは2000年ごろにスタート。19年からSDGs（持続可能な開発目標）を取り入れた独自のNIEシートを作成しています。「+日報」トライアル参加後、初めてのNIE週間は10月10日から4日間行われ、2、3年生が活動しました。これまでは先生方が自宅から持ち寄った日付の違う新聞を使っていましたが、今回から岩手日報デジタル版で全員が同じ紙面を読むようになりました。1年生は13日の授業で使い方を学びました。

1 ロイロノートを有効活用

NIEシートをロイロノートに取り込み、ロイロの機能で線引きし、要約・意見を書き、グループ交流

2 デジタル版を使う利点

岩手日報デジタル版の活用により、クラス全員が同じ日の新聞を教材にすることが可能に

3 生徒の作業時間が短縮

記事の切り貼りや、友達の選んだ記事・要約・意見に対する感想を書く作業が効率化し時間短縮

4 まず授業で使い方指導

1年生が使い方を学んだ授業の指導案を右のQRコードで紹介。



NIE週間の手順

- 1日目.....
 - ①新聞を読む。全ての記事に目を通す。
 - 2日目.....
 - ②記事を選んで切り取り、シートに貼る。
 - ③キーワード、大事な部分に線を引く。
 - 3・4日目.....
 - ④記事の要点（青カード）、記事に対する自分の考え（赤カード）を書く。
 - ⑤関連するSDGsをコピー&ペースト。
 - ⑥他の記事も読み「気になった記事」の見出しを記入。
 - 5日目.....
 - ⑦全員が記入を終えたらグループで交流【交流の例】
 - ①提出箱に提出
 - ②班員のシートを見てコメントを書く（黄シート）
 - ③コメントを本人に「送る」（生徒間通信をON）
 - ④受け取ったコメントをシートに追加
 - ⑤完成したシートを提出箱に提出
- 終了後.....
- ⑧各月5人、廊下に掲示。（出席番号順）
 - ⑨未掲示の人は、自分のホルダーに綴る。
 - ⑩帰りの会の「ニュース紹介」で発表。

・・・下橋中、見学OK・・・

下橋中では、NIE週間などの見学を受け入れています。授業でも新聞記事を使う高橋京先生は「勉強が机の上に留まらず、地域や生活の役に立つことを生徒に伝えたい。その点で新聞は有効」と新聞活用の意義を話してくれました。

